

ひがしの子

令和3年11月26日

岐阜市立岐阜東幼稚園

園長 藤井 佐由美

達目洞と金華山への遠足に行ってきました！！



11月19日(金)は、風もなく温かくとても過ごしやすい日となりました。延期したかいがあるものだと、天気にも恵まれたことを感謝しました。

こあら組(3歳児)と、なつめ組(4歳児)は、達目洞への遠足でした。自然のあるがままの姿が大切に保護されており、ヒメコウホネの花で有名な場所です。

事前に、岐阜市の環境保全課の方と打ち合わせしていたこともあり、当日は、「達目洞自然の会」

の加納会長さんや会員の野尻さんのご協力の下、環境保全課の諏佐さん、西本さん、福永さんが、この辺りに生息する生き物を持参して来てくださいました。そこには、バッタやザリガニなど、馴染みのある生き物に加えて、カワヨシノボリ、ミナミメダカ、アブラハヤなど、数種類の生き物がありました。子どもたちは、興味深々です。触りたい気持ちはあるけど、触るのは少し怖いなと感じている子どももいました。しかし、本当は触って様子を見たい気持ちもあり、他児に、「ちょっと、これ触ってよ。」「誰か～・・・」とちゃっかりお願いして、生き物の様子を観察していたようです。

ヒメコウホネのつぼみを見ることもできたようでとてもラッキーでした。ドングリなどの秋の実も見つけることができ、葉っぱを拾ってお面にしたり、ホウバの葉の大きさ比べをしたりして遊びました。

協力者の方のおかげで、持参してくださった生き物をいただくことができ、なつめ組で飼うことになりました。

早速、ザリガニが脱皮しており、生き物の不思議に出会うことができたようです。また、「ザリガニのオスとメスの違い」や「どんな餌がよいのか」など、4歳児なりに図鑑で調べたり、聞いたり、よく観察したりして生き物に親しんでいます。



たいよう組(5歳児)は、金華山の「めい想の小径」を岐阜城まで2,300mの道のりに挑戦しました。今年度は、金華山の自然と触れ合おうと地域の方(野尻さんと小酒井さん)の力をお借りし、バードコールを製作してもらいました。バードコールに必要なアイボルトを購入するた



めに、子どもたちは、畑の野菜を売ってお金をためてきました。保護者の方の協力により、無事、全員分のバードコールができあがりました。

600mほど、登ったところで、よそのおじさんたちが、ヤマガラや台湾リスに餌をやっている場面に遭遇しました。おじさんの手の上まで、ヤマガラが飛んできて、また、森の木に戻っていく場面を何度も見る事ができました。少し餌を分けていただき、子どもたちも挑戦すると、子どもの手の上にもヤマガラがやってきたのです。

登りの後半の山道は崖が多く、アドベンチャーコースのようでしたが、誰一人弱音をはくことなく、全員が登頂に成功しました。

七曲りからの下山途中、いよいよ持ってきたバードコールを試してみました。一か所目は、小鳥の声が聞こえたものの、見る事ができませんでした。2か所目は、15分くらい粘って、順番にバードコールの音色を響かせました。すると・・・全く声も姿もなかったところに、ヤマガラが4羽も近くに飛んできたのです。本当にバードコールで、鳥が呼べるんだ・・・と実感した子どもたちでした。

なかなか、小鳥がやって来ない様子に、「あ～、お願い、もうカラスでもいいから来てほしい～！」と懇願している子どもの姿が、切ないくらい愛おしく感じました。

保護者の皆様、おいしいお弁当の準備と現地への送迎、そして健康管理に気を付けてくださり、本当にありがとうございました。素敵な思い出になったことと思います。

《12月の保育について》

【3歳児】

<ねらい>

○自分の好きな遊びを見つけて繰り返し楽しむ。

○友達や大きい子のしていることに興味・関心をもってかかわる。

友達と“一緒”がよくて、心を合わせて遊ぶことが楽しいという思いが高まり、友達と誘い合って、同じ場で遊ぶ姿がますます増えてきます。

友だちと一緒に行動したり、遊んだりしながら、「おもしろい」、「たのしい」、といった思いを感じ、もっと一緒に遊びたいという思いが高まってきます。

保育室だけでなく、ホールや職員室前や職員室、園庭のあちらこちらに移動して遊んだりお気に入りの場所で遊んだりするようになります。



型にはめた遊びではなく、子どもたちの思いや発想、遊び方を大切に、教師も一緒に楽しんでいきたいと思えます。イメージや発想を、大人に言葉で伝えようとする姿も多くなってきます。教師が丁寧に、聞き役になり十分に話す経験をもたせる中で、伝えようとする力を引き出したいと思えます。

「同じものを持ちたい」、「同じものを作りたい」などの思いも強くなることで、ときに思いがぶつかり合うこともあります。自分の思いを言葉や身振り手振りで相手に伝えながら、大人に受け止めてもらうことで、「伝えてよかった」という実感がもてるように援助していきます。

寒くなり室内で過ごす時間が多くなりますが、暖かい日には戸外に出て、鬼ごっこなどの集団遊びをして思い切り体を動かして遊ぶ中で、多くの友達と一緒に遊ぶ楽しさが味わえるようにしていきたいと思えます。

【4歳児】

<ねらい>

○自分のしたいことで力を発揮し、友達と一緒に遊びを進める。

○身近にあるものを遊びに取り入れて、自分なりに工夫して遊ぶ。

仲良しの友達やよく一緒に遊ぶ子たちと何をして遊びたいか、どのようにしたいかなど自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりしながら遊べるようになってきます。



大縄跳びや鬼ごっこ、転がしドッジボールなどの集団遊びを、友達と誘い合って、自分たちで進めていく姿も見られるようになってきます。うまくいかないことやルールや決まりを共通理解できないことなどありますが、友達と一緒に遊ぶことは楽しいという経験を積み重ねていく時期です。子どもたちだけで遊んでいるとき、子ども同士でかわりをもっているときは、その成り行きを見守ったり、教師も仲間に入ったりしながら、様々な集団遊びやルールのある遊び、ごっこ遊びを楽しめるようにしていきたいと思えます。

自分たちの遊びや製作にどのようなものがよいか、そのためにの材料や素材はどういうものがよいか、どのようにつくとよいかなどを考え、教師に要求する姿も出てきます。

環境を整備したり、いろいろな材料や素材を準備したりして、自分たちで遊びを進められるようにしていきたいと思えます。

【5歳児】

<ねらい>

○自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞き入れたりしながら遊ぶ。

○友達と一緒にルールのある遊びを楽しんだり、遊び方を工夫したりする。

秋の自然物や木片を使って、友達と一緒に大きなものを作って遊んだり、体を使って遊んだりする中で、自分の思いや考えを表現したり、友達の思いや考えを聞いたりしながら楽しく遊ぶようになります。正しい道具の使い方や効率のよい使い方の工夫など、経験しながら覚えていきま



す。これまでに十分に体を動かして遊んできたことで、手先が細やかに動かせるようになり、くぎ打ちやねじ回しなどができるようになってきます。

集団でドッジボールや鬼ごっこなどルールのある遊びが楽しくなり、繰り返し遊ぶようになります。また、目的をもった一つの活動やごっこ遊びに、まとまりをもって取り組めるようになってきます。

もめごとが起きたり困ったりする場面では、話し合っ

て自分たちで納得がいく遊び方やルールを決めるなど、みんなで解決していこうとするようになります。

そうした中で、自分の考えを受け入れられたり、ときには拒否されたりすることもあります。友達とのいざこざが起きたり、葛藤したりすることもあります。負の経験のようですが、子どもたちが、互いに受け入れ合う、決まりやルールを守る、友だちとつくり変えたりする、折り合いをつける、共感するなどの成長のためには、どれも大切な経験です。

こうした場面では、十分に時間を取り、教師が一人一人のおもいを受け止めながら見守っていたり、一緒に考える仲間になったりして援助したいと考えています。



お礼とお知らせ

♡ 11月の保育参加及び参観へのご参加ありがとうございました。

年長児たいよう組は、「ドッジボールの親子対決」、年中児なつめ組は、「転がしドッジボールの親子対決」、年少児こあら組は、「親子ふれあい遊び&リズム遊び」などで楽しんでいただきました。年長児のドッジボールでは、負けてしまって悔し泣きする子もいましたが、様々な経験を通して、少しずつ、折れても立ち直れる心の強さが育ってきているように思います。

こんな世の中だからこそ、人とのつながり、家族の温かさや大切さなど、身に染みて感じていただけたのではないのでしょうか。

様々な場面でご理解・ご協力をいただきましてありがとうございました。

♡ **11月28日(日)は、親子ふれあいの会・講演会があります。**

◇ 9:00まで 登園完了してください。

◇ 9:00～ 9:50 親子で作って遊びます。

◇ 10:00～11:30 講演会(子どもたちは、担任と遊びます。)

◇ 11:30 降園

◆持ち物 たいよう組・・・木工ボンド(速乾性が望ましいです)

全園児・・・かばんの中は、お手拭きタオルのみでよいです。

シールノートは、不要です。

上靴は、日曜日に持ち帰ります。火曜日に持ってきてください。

◆服装 この日は、制服なしで体操服とカラー帽子で登園してください。

